

6 進路指導

【共通の取り組み】

大津市の療育教室では、以下の3点を基本に進路指導を実施している。

①子どもの成長・発達と障害、今後の課題を保護者と確かめながら、どのような生活の仕方や文化がわが子に合うのか考える。②次年度の進路ばかりでなく子どもの少し先の将来の見通しを持って考える。③保護者の希望、生活設計、主体的条件、家庭状況、地域特性を考慮しつつ、保護者が主体的に納得して選択していけるようにする。具体的には下記の内容で進路指導をすすめている。

- ・ 卒園児保護者から就園の実体験を聞く機会を提供する。 …「卒園児保護者と語る会」
- ・ 保育園と認定こども園・幼稚園それぞれの特色や取り組み内容を知らせる。 …「就園集団指導」
- ・ 適切な進路決定ができるための支援をする。 …発達相談、個別懇談
- ・ 通園可能範囲の保育園や認定子ども園、学区の幼稚園を見学し説明を聞く機会を提供する。 …園見学
- ・ 職員間では、一人ひとりの子どもとその家庭の状況を確認しつつ支援の方向性を話し合い、整理した進路指導の課題を関係機関に発信する。 …進路委員会
- ・ 就園先が決まってからも就園する先の保育園・認定こども園・幼稚園から来園いただき、療育場面での実際の子どもの様子を見てもらう機会を設け、具体的な姿をとおして引継ぎを実施する。

…引継ぎ

- ・ 卒園後のフォローの体制を案内する。 …卒園後についてのオリエンテーション

＜進路指導年間スケジュール＞

実施月	内容
6月～7月	卒園児保護者と語る会とOBと交流する会
7月	集団就園指導 (幼児政策課・保育幼稚園課の協力)
8月～9月	園見学オリエンテーション
9月～10月	保護者園見学(保育園・認定こども園・幼稚園) 進路に関する個別懇談
10月～11月	OBと交流する会
1月～3月	進路先の園との引き継ぎ
3月	卒園後フォロー体制のオリエンテーション

*保護者の意向を踏まえ進路委員会で随時検討する。

『やまびこ園・教室』

年度年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
保育園(公立)	0	0	4	2	0	0	6
保育園(民間)	0	0	8	2	0	0	10
こども園(民間)	0	1	4	2	0	0	7
幼稚園(国・公立)	/	/	7	8	0	0	15
幼稚園(民間)	/	/	1	0	0	0	1
養護学校	/	/	/	/	/	3	3
療育継続	0	7	2	1	4	0	14
転出	0	0	1	1	0	0	2
計	0	8	27	16	4	3	58

『わくわく教室』

年度年齢	1歳児	2歳児	3歳児	計
保育園(公立)	0	3	0	3
保育園(民間)	0	10	2	12
こども園(民間)	0	5	0	5
幼稚園(公立)	/	3	1	4
幼稚園(民間)	/	1	0	1
療育継続	4	3	0	7
計	4	25	3	32

『のびのび教室』

年度年齢	1歳児	2歳児	3歳児	計
保育園(公立)	0	4	2	6
保育園(民間)	1	6	3	10
こども園(民間)	0	3	0	3
幼稚園(公立)	/	10	9	19
幼稚園(民間)	/	0	0	0
療育継続	1	0	0	1
計	2	23	14	39

進路指導およびその結果からは、以下のような特徴があった。今年度は4歳児での保育園・認定こども園(2号認定)入所は少なく、公立幼稚園での3歳児保育完全実施とともに3歳児での療育が減って、今後の傾向となる。保育士不足から、見学の時点で受け入れ困難という情報が、保護者の不安を招いている状況もあるが、学区にこだわることなく、子どもの育ちにとつ

て保育園での生活環境が必要であるという観点で希望園を考えていけるように保育園見学や進路指導を行ってきた。東南部エリアは公立保育園が1か園である。また特定の民間園に保育園入所の希望園が偏りやすいことなどから、見学園・希望園を広く促していく必要性を感じた。

看護師不足もあり、民間園での医療的ケアの必要な子どもたちの受け入れが難しくなっている。安心して医療的ケア児の受け入れができるように、大津市として医療的ケア児の療育・保育ガイドラインの作成など療育・保育内容充実のために、また、生活地域で育つ権利が保障されるような体制の確立に努めて行きたい。